

2019年度 活動報告

法人の名称 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 概要

よりよい子どもの未来へ向けて子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組んだ。

具体的には、子どもたちの現状を市民に伝え、潜在的なサポーターの掘り起こしを図り、子ども・子育ての課題に取り組む団体への助成や、活動団体とサポーターをつなぐコーディネートなどを行った。

新たな要素として、かながわボランティア活動推進基金 21 による神奈川県との協働事業「子ども支援活動地域サポート推進事業」に取り組んだことや、外部推進組織を立ち上げ事務局機能を担ってきたピンクシャツデー事業を当ファンドの本体事業(会計)に組み入れたことが挙げられる。

前者は貧困など困難な状況にある子どもたちの健やかな育ちを社会全体で支える地域づくりの取組み、後者は地域の多様な主体が一体となっていじめのない社会を目指す取組みである。

年度末には新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止したものや実施方法を見直したものもあったが、年間を通じて以下に示す取組みを行った。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

①個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

ア NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

ポータルサイトの開設にむけ準備する事業(基金 21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の基本設計
NPOと企業や団体、行政等との連携を促進し、子ども支援活動に関わる地域のネットワークを広げることを目的に、ポータルサイト(こどもの未来応援ネット)の構築に向け基本設計を行った。
(ソフトウェア開発委託契約先(株)アイネット)
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 3,000,000円

つなぐ・支えるコーディネート機能を充実する事業(基金 21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の設置」
子ども未来ファンドのHPに「つなぐ・支える相談窓口」を設置し、子ども支援活動とサポーターをつなぐコーディネート機能の充実を図った。支援企業・団体・行政との共催事業に柔軟に対応するなど関係づくりに努め、5月の設置以降、企業等から月1~2件程度の相談が寄せられた。
<主なマッチング事例>
 - ・横浜高速鉄道(株)提供の災害備蓄食料をこども食堂や高校内カフェ等

の居場所で活用。

・(一社) 横浜銀行協会提供の災害備蓄食料を子どもの居場所に提供。
ワールドカフェ (子どものみらい応援ネットワーキング) の開催
茅ヶ崎市市民活動センターの指定管理者である認定 NPO 法人 NPO サポートちがさきへ委託し 2 月 28 日に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止とした。

- ・日 時 随時 窓口開設 (5 月) ワールドカフェ (中止)
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 3 人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,800,000 円

イ 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

会員及び寄付の募集

- ・内 容 会員の状況

	2019 年度実績	前年度実績
正会員	84 名 (47 口)	86 名 (47 口)
準会員	22 名 (24 口)	49 名 (54 口)
子ども応援会員	13 名 (18 口)	19 名 (29 口)
法人会員	11 社 (13 口)	8 社 (12 口)

(年度末現在)

寄付の状況

	2019 年度実績	前年度実績
一般寄付金※	7,965,180 円	3,659,504 円
運営基盤を支える寄付金	357,330 円	829,950 円

※2019 年度はピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 15 人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 1,553,589 円

ヨコハマ・アコースティックフェスティバル vol.10 への参加

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動

約 4,000 名が参加するヨコハマ・アコースティックフェスティバルの会場 (山下公園) で子どもの居場所事業等を実施している活動団体のパネル展示を行った。音楽イベント等の場で実施する普及活動には、新たな広がりがあるとの手ごたえを得た。また、会場で横浜市立東高校サステイナブル研究部の協力のもとチラシ 1,000 枚を配布。次年度以降のイベントの開催準備に向け一歩進めることができた。

- ・日 時 9 月 8 日
- ・従事者人員 10 人

- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 300,000円

商店街でのチャリティーバザーの実施

- ・内容 商店街の寄贈品によるチャリティーバザー
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力により、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティーバザーを実施した。
- ・日時 10月6日
- ・場所 川崎市元住吉 モトスミ・ブレーメン通り商店街
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 150,000円

各種団体主催イベントでの募金活動

- ・内容 連合神奈川主催のメーデーに出展
飲料のチャリティー販売と募金活動を行った。
- ・日時 4月28日
- ・場所 臨港パーク
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 120,000円

福祉団体主催イベントでの募金活動

- ・内容 福祉作業所主催のバザーに出展
飲料のチャリティー販売と募金活動を行った。
- ・日時 11月23日
- ・場所 保土ヶ谷区 地域作業所ダンボ
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支出額 120,000円

②個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費または事業費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

ア 助成事業

2019年度助成事業

- ・内容 2019年度助成の実施
「一般助成」「課題助成／いじめ・貧困・児童虐待防止」の2分野で、2018年度に助成対象団体を募集するとともに助成選考委員会を開催。その結果を踏まえて7団体へ総額102万円の助成を行った。

2019年度助成選考委員

- 委員長 ■■■■■ 北川商事株式会社代表取締役社長
- 委員 ■■■■■ NPO 法 JAM ネットワーク代表
- 委員 ■■■■■ NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事

委員 ■■■ 神奈川県労働委員
 委員 ■■■ 神奈川県弁護士会子どもの権利委員会委員

- ・実施時期 4月
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 1,050,000円（助成額1,020,000円）

2019年度助成対象団体

団体名	区分	事業内容 < >内活動領域	都市名	助成金額
生き×活き コミュニティ	一般	<居場所・コミュニティを創る事業> ひきこもりや未就労者等が、フラッと参加できるフリースペース（場）を提供する	横浜	100,000円
おっち一塾	一般	<地域で困っている子どもを支える事業> 地域ボランティアによる不登校児童・生徒への学習支援とコミュニケーション支援	横浜	200,000円
NPO法人 子どもと共に歩む フリースペース たんぽぽ	一般	<小冊子「何よりも命が大切！子どもたちからあなたへ」（仮題）の作成事業> 子育て家族と地域の交流を支援	横浜	200,000円
NPO法人 ひだまりの森	一般	<親子の孤立を防ぐステップアップ事業> 多様化するニーズに対応する新たな相談体制を作る（有料相談の実施・広報）	横浜	170,000円
東戸塚 【キララの教室】	一般	<外国につながる児童への学習支援> 指導法の改善、受け入れ人数拡充を検討。10周年記念イベント、記念誌の作成・配布	横浜	120,000円
NPO法人 なまむぎこども食堂	課題	<こども食堂> 「楽しい会話が何よりのごちそう」をスローガンに運営。新たに学習支援事業を開始予定	横浜	130,000円
みんなの場「てとてと」	課題	<困難を抱える家庭のための居場所事業> 簡単な食事の提供や各種講座とソーシャルワークによる支援を取り入れた居場所事業	相模原	100,000円

2020年度助成事業

- ・内 容 2020年度助成対象団体の募集

「一般助成」に加え「課題助成①いじめ・児童虐待防止」「課題助成②貧困」の3分野について助成対象団体を募集した。

2020年度助成概要

募集総額：1,500,000円（前回比+500,000円）1団体につき上限25万円
 募集期間：11月1日～1月25日
 応募総額：4,143,000円（前回比+1,519,400円）
 応募団体：18団体（前回比+5団体）

2020年度助成選考委員

委員長 ■■■ 北川商事株式会社代表取締役社長
 委員 ■■■ NPO法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
 委員 ■■■ 神奈川県弁護士会所属弁護士

委員 ■■■ NPO 法人ハンズオン埼玉常務理事
委員 ■■■ 神奈川県労働委員

- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 100,000円

イ 助成贈呈式及び助成報告会

2019年度助成贈呈式・2018年度助成報告会の実施

- ・内容 2019年度助成対象団体への助成贈呈と2018年度助成対象団体の活動報告及び、寄付をした企業・団体・個人の方との交流
- ・日時 6月23日 14:00
- ・場所 横浜中央YMCA9階
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 50,000円

③前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

助成対象団体等への技術的支援の実施

- ・内容 助成対象団体等への事業運営等の助言、支援及び専門家の紹介等
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人、及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 10,000円

④ 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内容 子ども・若者と子育てに関する実態の把握
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人、及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 10,000円

⑤ 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

「ピンクシャツデー2020 in 神奈川」の取り組み

- ・内容 カナダでスタートした多様性を認め合い、いじめストップを願うアクションを県内各地で実施した。ピンクシャツデー推進委員会を組織し、県や市と企業や団体、NPO、商業施設等が一体となり、子どもを見守る輪づくりの大切な機会とした。

具体的には、2月をピンクシャツデー月間とし、商業施設でキャンペーンイベントを4回実施した。活動の様子は行政、企業、団体、NPOが協働した神奈川モデルとしてNHKやtvkのニュース報道でも複数回取り上げられ、全国に発信された。また、多くの新聞等で報道された。

- ・日時 2月（ピンクシャツデー月間）
キャンペーンイベント 2月9日、2月16日、2月24日、2月26日
- ・場所 横浜ワールドポーターズ、ランドマークプラザ、横浜駅西口駅前広場（横浜タカシマヤ正面入口前）、新都市プラザ（そごう横浜店地下2階正面入口前・イベントを中止し展示のみ実施）
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 3,966,979円

子どもみらいセミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内容 子どもみらいセミナーの実施（3回）
「子どもたちのSOSを受け止めよう」ナビゲーター／■■■■理事
- 第1回「いじめストップ！」
日時 8月18日／14:00-17:00 会場 横浜中央YMCA 9階講堂
講師 ■■■■（NPO法人ジェントルハート理事）
■■■■（株式会社マモル代表取締役社長）
定員 約80人 実績 参加数 29人 ボランティアスタッフ12名
- 第2回「虐待の連鎖を止めよう」
日時 9月29日／14:00-17:00 会場 ワークピア横浜
講師 ■■■■（明星大学人文学部福祉実践学科常勤教授）
■■■■（弁護士/神奈川子どもみらいファンド理事）
定員 150人 参加数 51人 ボランティアスタッフ14名
- 第3回「子どもの貧困」
日時 11月17日／14:00-17:00 会場 ワークピア横浜
講師 ■■■■（首都大学東京人文社会学部人間社会学科
社会福祉学教室教授）
■■■■（社会福祉法人子供の家ゆずりは所長）
定員 150人 参加数 64名 ボランティアスタッフ9名
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 1,601,691円

子どものみらい応援団セミナーの実施事業（基金21協働事業負担金事業）

- ・内容 子どものみらい応援団セミナーの実施（2回）
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。
- 第1回 公益社団法人横浜貿易協会
日時 9月18日 参加人数 40名
内容 理事・評議員合同幹部セミナーにて実施
講師 神奈川県福祉子どもみらい局子ども支援課長 ■■■■ ■■■■
東京ボランティア・市民活動センター所長 ■■■■ ■■■■
〃 主任 ■■■■ ■■■■
- 第2回 横浜港南ロータリークラブ

日時 2月5日 参加人数 36名
内容 横浜港南ロータリークラブ例会 卓話として実施
講師 神奈川県子ども未来ファンド副理事長 [REDACTED]

- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 500,000円

「バリアフリーフェスタかながわ」への参加

- ・内容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開した。実行委員長に吉富副理事長が就任。
- ・日時 11月14日
- ・場所 横浜新都市プラザ（そごう横浜店9階）
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 100,000円

パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」による普及啓発事業

(基金21 協働事業負担金事業)

- ・内容 企業等へのPR活動に用いるパンフレットを発行した。
- ・日時 3月発行 A4フルカラー8頁 4,000部発行
- ・場所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支出額 800,000円

インターネットを活用した普及啓発事業

- ・内容 Facebook等を活用し普及啓発事業を行った。
- ・日時 随時
- ・場所 事務局他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 324,350円

広報誌の発行による普及啓発事業

- ・内容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行し広報宣伝活動を行った。
- ・日時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支出額 100,000円

その他、メディア等を活用した広報宣伝事業

- ・内容 新聞・テレビ等のメディアに積極的に働きかけた。
- ・日時 随時

- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 132,512円

3 事業実施体制

(1) 会議に関する事項

- 通常総会 5月開催
- 理事会 年10回開催
- 運営委員会 年12回開催

(2) 監査に関する事項

- 中間監査 年1回
- 本監査 年1回

(3) 事務局体制

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 事務局スタッフ | 常勤職員 | 1名 |
| | 非常勤職員 | 2名 |
| 運営委員による事務局応援 | | |
| | 有償ボランティアとして | 2名(週1回程度) |
| | その他ボランティアとして | 5名(随時) |

2020年度 活 動 報 告

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動概要

コロナ禍に覆われ、事業の実施に慎重を期する1年となったが、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組んだ。

学校現場においては、新型コロナの影響により、長期休校や学校行事の中止、オンラインでの授業実施など、子どもたちをめぐる環境は大きく変わった。2019年度の神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は2万8245件(前年度比3139件増)で過去最多を更新した中、コロナ感染への社会不安は、偏見や差別、いじめへと向かい、こうした事象が助長されるのではないかとの危惧が広がった。そして、2020年に自ら命を絶った児童生徒は500人近くに上り、19年に比べて4割以上増え、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えていることが窺えた。

こうした状況の中、神奈川子ども未来ファンドは、一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択され、通常の助成事業の他、6団体に総額1,105万円の助成を決定した。

また、2年目となるかながわボランティア活動推進基金21による神奈川県との協働事業「子ども支援活動地域サポート推進事業」では、活動団体と企業・団体等のマッチングのサポートに積極的に取り組みつつ、ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」を完成させるなど、計画に沿った取組みを進めた。

更には、コロナ禍だからこそ「共にある」「見守っている」とのエールを子どもたちに送りたいと、ピンクシャツデーアクションに取り組んだ。

2020年度はコロナ禍により中止した事業もあったが、様々工夫しながら以下の活動を行った。

2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

ア NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア) ポータルサイトの構築

(基金21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の完成と運用
子ども支援活動団体を支える企業等のサポーター向け、子ども支援活動団体向け、子育て当事者等向けのページで構成し、双方向の情報交換ができるポータルサイトを構築し、運用の試行を行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 2人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 2,000,000円

(イ) コーディネート窓口を運営

(基金21 協働事業負担金事業)

- ・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の運用」
「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターをつなぐコーディネートを推進した。
相談件数：19件 成立件数：10件
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局及び県内
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 500,000円

(ウ) ワールドカフェ（子ども支援交流会）の開催
（基金 21 協働事業負担金事業）

- ・内 容 「フジサワアイデアソン～子どもを取り巻く環境を考える～」を開催
（一社）藤沢市民活動推進機構の協力を得て、貧困等への対応を念頭に、新型コロナ感染拡大防止に配慮し、地域の NPO 等と企業等とのオンラインイベントを実施した。
- ・日 時 3月18日 14:00～16:00
- ・場 所 オンライン
- ・参加人数 39名
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 500,000円

イ 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内 容 【会員の募集】

	2020年度実績	前年度実績
正会員	61名※ (39口)	84名 (47口)
準会員	24名 (24口)	22名 (24口)
子ども応援会員	23名 (23口)	13名 (18口)
法人会員	13社 (17口)	11社 (13口)

※定款第9条第2項の適用による減を含む

【寄付の募集】

	2020年度実績	前年度実績
一般寄付金※	6,454,204円	7,965,180円
運営基盤を支える寄付金	543,811円	357,330円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 15人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 199,646円

(イ) ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等への参加

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動
ヨコハマ・アコースティックフェスティバル等のイベント会場で子どもの居場所事業等を実施している活動団体紹介や募金活動を行った。
- ・日 時 11月8日 ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル
3月27日 ヨコハマ・アコースティックフェスティバル
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 264,562円

(ウ) 商店街でのチャリティバザーの実施（コロナ禍により中止）

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティバザー
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力により、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティバザーを実施。
- ・支 出 額 0円

(エ) 各種団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 連合神奈川主催のメーデー等に出店
飲料のチャリティー販売と募金活動等。
- ・支 出 額 0円

(オ) 福祉団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出店
飲料のチャリティー販売と募金活動等。
- ・支 出 額 0円

(2) 個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

ア 助成事業

(ア) 2020年度助成事業

- ・内 容 2020年度助成の実施
「一般助成」に加え「課題助成①いじめ・児童虐待防止」「課題助成②貧困」の3分野、総額150万円1団体上限25万円で2019年度に募集し、助成選考委員会の審議を経て、8団体へ総額150万円を助成した。
なお、緊急助成を目的とした寄付を受けたことから、寄付者の意向も踏まえ、子どもたちへの食の提供に取り組む団体へ配分することとし、助成決定団体の内該当する活動を行っている4団体にそれぞれ6万円計24万円を追加助成した。

2020年度助成選考委員会

助成選考委員会 2020年4月2日

(追加助成については7月に書面により調整)

委員長 ■■■■■ 北川商事株式会社代表取締役社長
 委員 ■■■■■ NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
 委員 ■■■■■ 神奈川県弁護士会所属弁護士
 委員 ■■■■■ NPO 法人ハンズオン埼玉理事
 委員 ■■■■■ 前神奈川県労働委員会労働者委員

- ・実施時期 5月（追加助成は7月）
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 2,000,000円

【2020年度助成対象団体】

団体名	区分	<活動領域> 事業名	都市名	助成金額	追加助成
みんなの場「てとてと」	一般	<居場所づくり支援> みんなの場「てとてと」事業	相模原	100,000円	60,000円
NPO 法人 ピアサポート F.A. cafe	一般	<食物アレルギーへの支援> 親子でともに学ぶ、食物アレルギー ワークショップ事業	藤 沢	250,000円	
NPO 法人 RCB 大口夢	一般	<こども食堂、居場所づくり支援> 「ひとり親の子ども・母親の心と体 を元気いっぱい！地域食堂×未 病食育教室」事業	横 浜	100,000円	60,000円
Art Lab Ova (アートラボ・オーバ)	一般	<学習支援事業> 横浜パラダイス会館における備品 の充実と学習支援事業新設	横 浜	250,000円	60,000円
おっち一塾	一般	<居場所と学習支援事業> 地域で支える困っている子どもへ の支援事業 ～困っている子どもたちやその保護者を地域で 孤立させない～	横 浜	200,000円	
常設子育てサロン ちっちゃなて	一般	<子育てサロン事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円	
NPO 法人 湘南まぜこぜ計画	課題 ①	<居場所づくり支援> 不登校児童・生徒がいつでも来られ る常設の寺子屋ハウスへの移転と 居場所マップ事業	藤 沢	200,000円	60,000円
NPO 法人 フードバンク横浜	課題 ②	<学習支援事業> 経済的困難を抱える子供の学び支 援	横 浜	200,000円	
		合 計		1,500,000円	240,000円

(イ) 2021 年度助成事業

- ・内 容 2021年度助成の実施
「一般助成」に加え「課題助成」総額120万円1団体上限30万円で、

助成対象団体を募集した。

2021年度助成事業

募集総額：1,200,000円（前回は△300,000円）
（1団体につき上限30万円）

応募総額：3,599,000円

応募団体：13団体（前回は△5団体）

2021年度助成選考委員

委員長 ■■■■■ 北川商事株式会社代表取締役社長
委員 ■■■■■ NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
委員 ■■■■■ 神奈川県弁護士会所属弁護士
委員 ■■■■■ NPO 法人ハンズオン埼玉理事
委員 ■■■■■ 前神奈川県労働委員

- ・募集期間 2020年11月1日（日）～2021年1月25日（月）
- ・従事者人員 10人（事務局2名 理事3名 選考委員5名）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支出額 545,503円

イ 助成贈呈式及び助成報告会（コロナ禍により中止）

(ア) 2020年度助成贈呈式・2019年度助成報告会の実施

- ・内容 2020年度助成対象団体への助成贈呈と2020年度助成対象団体の活動報告及び、寄付をした企業・団体・個人の方との交流。
- ・支出額 0円

ウ 子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成

(ア) 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体の公募選考を経て決定した6団体と総額1,105万円の資金提供契約を締結し、初回分（2020年度分）として総額6,153,231円を助成した。

- ・募集期間 2020年8月17日（月）～9月17日（木）
- ・助成選考委員会 2020年10月4日（日）
- ・委員構成 アの助成選考委員会と同じ
- ・従事者人員 12人（事務局3人 理事4人 選考委員5人）
- ・受益対象者 県内の子ども・若者の居場所事業などの利用者、子育てをしている親や家族、子ども支援に取り組む者など
- ・助成金額 初回（2020年度）6,153,231円（決定総額11,050,000円）
- ・助成期間 初回助成分 2020年11月～2021年4月（全体期間～2021年9月）
- ・支出額 7,161,711円

【子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成に係る助成団体】

団体名	事業名	都市名	2020年度助成金額 （決定総額）
特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	農園を活用した子ども・若者支援事業	小田原	1,355,500円 (2,199,500円)
特定非営利活動法人 フリースクール鈴蘭学園	不登校・ひきこもり支援事業 ～子どもたちへの居場所の提供と学習支援～	相模原	829,500円 (1,808,900円)

NPO 法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	「トラウマのメガネ」プロジェクト ～適切なケアにつなげるための トラウマの視点～	横 浜	795,960 円 (869,000 円)
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	「地域みんなが元気になる活動事例集」 ～コロナに負けない！育てよう！ 子ども・若者～	横 浜	1,130,336 円 (2,643,673 円)
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	「子ども・若者のキャリアスクール」 ～駄菓子屋カフェで職業体験～	横 浜	1,260,250 円 (2,007,800 円)
一般財団法人エマージェンシー・メディカル・レスポonder財団	感染防護と、新型コロナ時代の応急手当教育 ～子どもが集う場所に安心と安全を～	横 浜	781,685 円 (1,521,127 円)

(3) 前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

ア 助成対象団体等への技術的支援の実施

- ・内 容 助成対象団体等への事業運営等の助言、支援及び専門家の紹介等を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 5 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支 出 額 100,000 円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

ア 子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内 容 実態を把握するため助成団体等へヒアリングを行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支 出 額 51,043 円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

ア 「ピンクシャツデー2021神奈川」の取組み

(基金 21 協働事業負担金事業（一部/企画及び普及）)

- ・内 容 2021 年 2 月のピンクシャツデー月間は緊急事態宣言期間となり、感染拡大防止に配慮しながらの実施となったが、公式サイトを開設した他、県内の小中高校等でのポスター掲示や商業施設等でのサイネージ等の掲示など、多くの協力を得た。また、ライトアップを横浜 5 カ所、鎌倉 1 カ所、藤沢 2 カ所で行った。横浜以外の地域にはじめて広がった。2 月 24 日はパネル展示を実施。商業施設のプレスリリース等により Yahoo! ニュース等 32 媒体で紹介された。また、ピンクシャツデー公式

- ・日 時 サイトにおいて協賛団体等の紹介も行った。
2021年2月（ピンクシャツデー月間）
キャンペーンイベント 2月24日
- ・場 所 横浜市内 他
- ・従事者人員 20人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 4,276,482円

イ 子どもみらいセミナーの実施（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子ども未来セミナー2020の実施（3回）
「ウィズコロナと子どもの世界」をシリーズタイトルとし、新型コロナ感染拡大防止に配慮してオンライン無料配信により実施した。
ナビゲーター：西野博之氏（神奈川子ども未来ファンド常任理事）
- 第1回「いじめ・子どもの命を守ること」
日 時：2020年10月25日（日）14:00～16:00
配信会場：横浜ワールドポーターズ 会議室
講 師：[REDACTED]（学級経営コンサルタント）
ゲスト：[REDACTED]
参加申込者数 201名 アンケート回収 72通
You tube 通算視聴回数 414回
- 第2回「虐待・ステイホームの功罪」
日 時：2020年12月6日（日）14:00～16:00
配信会場：公益社団法人 横浜貿易協会
講 師：[REDACTED]（ルポライター）
参加申込者数 191名 アンケート回収 29通
You tube 通算視聴回数 278回
- 第3回「加速する貧困」
日 時：2020年12月20日（日）14:00～16:00
配信会場：横浜ワールドポーターズ 会議室
講 師：[REDACTED]
(認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長)
参加申込者数 193名 アンケート回収 24通
You tube 通算視聴回数 176回
- ・従事者人員 10人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 2,000,000円

ウ 子どものみらい応援団セミナー実施（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 子どものみらい応援団セミナーの実施（2回）
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等へ出向き、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。
- 第1回 神奈川県生産性本部理事会
日 時：11月24日（火）
会 場：崎陽軒 ヨコハマジャスト1号館
講 師：[REDACTED]（神奈川子ども未来ファンド理事長）
参加数：20名
- 第2回（一社）神奈川経済同友会例会

日 時：12月8日（火）
会 場：ロイヤルパークホテル 宴会棟
講 師：■■■■■■■■■■（神奈川子ども未来ファンド理事長）
参加数：41名

- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 200,000円

エ「バリアフリーフェスタかながわ」への参加（コロナ禍により中止）

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出店し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開。
- ・支 出 額 0円

オ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発（基金21協働事業負担金事業）

- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 600,000円

カ インターネットを活用した普及啓発

- ・内 容 Facebook等を活用して普及啓発事業を行った。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 3人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 100,000円

キ 広報誌の発行による普及啓発

- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
- ・日 時 7月及び2月（年2回発行） 各回3,000部発行
- ・場 所 事務局
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 180,000円

ク その他、メディア等を活用した広報宣伝

- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアにプレスリリース等積極的に働きかけた。
- ・日 時 随時
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 5人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
- ・支 出 額 160,000円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

ア 会議に関する事項

通常総会	5月開催
臨時総会	2021年1月開催
理事会	年10回開催
運営委員会	年10回開催

イ 監査に関する事項

本監査	年1回
-----	-----

ウ 事務局体制

事務局スタッフ	常勤職員	1名
	非常勤職員	2名
運営委員による事務局応援		
	有償ボランティアとして	4名(週1回程度)
	その他ボランティアとして	5名(随時)

2021年度 活 動 報 告

特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

1 事業活動概要

コロナ禍が継続し、引き続き事業実施に慎重を期する1年となりましたが、子ども達が生きる喜びを感じられる社会づくりを進めるため、「地域創造(創る)」「架け橋(つなぐ)」「醸成(担い合う)」の3つのミッションに取り組みました。

学校現場においては、新型コロナの影響により、長期休校や学校行事の中止、オンラインでの授業実施など、子どもたちをめぐる環境は大きく変わった。2019年度の神奈川県内の公立小中学校・高校・特別支援学校のいじめ認知件数は2万8245件(前年度比3139件増)で過去最多を更新した中、コロナ感染への社会不安は、偏見や差別、いじめへと向かい、こうした事象が助長されるのではないかとの危惧が広がりました。そして、2020年に自ら命を絶った児童生徒は500人近くに上り、2019年に比べて4割以上増え、コロナ禍での孤立感が深刻な影響を与えていることが窺えました。

こうした状況の中、神奈川子ども未来ファンドは、「一般財団法人日本民間公益活動連携機構」が実施する休眠預金等活用法に基づく『新型コロナウイルス対応緊急支援助成』の資金分配団体に採択され、通常の助成事業の他、6団体に総額4,896,769円を助成しました。

また、最終年度となる「かながわボランティア活動推進基金21」による神奈川県との協働事業『子ども支援活動地域サポート推進事業』では、活動団体と企業・団体等のマッチングのサポートに積極的に取り組みつつ、ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用を開始するなど、計画に沿った取組みを進めました。

更には、コロナ禍だからこそ「共にある」「見守っている」とのエールを子どもたちに送りたいと、ピンクシャツデーアクションに取り組み、協賛企業や後援いただく自治体も増えるなど、その成果は県下に広がっています。

2021年度はコロナ禍により中止した事業もありましたが、様々工夫しながら以下の活動を行いました。

2 事業内容

(1) 個人や企業・団体からの寄付金品等を募るための寄付プログラムの開発と普及

① NPO等とその活動を支援する企業・団体(サポーター)をつなぐ仕組みをつくる事業

(ア)ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の運用によるマッチングの推進

(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の完成と運用
子ども支援活動団体を支える企業等のサポーター向け、子ども支援活動団体向け、子育て当事者等向けのページで構成し、双方向の情報交換ができるポータルサイトを構築し運用を開始した。子ども支援活動団体の情報、団体の活動を支える企業等の情報、子ども支援に関する情報を集約し運用することで、活動団体と企業等のマッチングを行った。
閲覧可能団体数 354団体(企業団体6団体含む) マッチング件数4件
- ・日 時 通年
- ・場 所 事務局他
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 1,194,257 円

(イ) コーディネート窓口の運営によるコーディネート推進
(基金 2 1 協働事業負担金事業)

・内 容 「つなぐ・支える相談窓口の運用」

ホームページ上に開設している「つなぐ・支える相談窓口」を運用し、子ども支援活動と活動を支えるサポーターの申出とのコーディネートを進めた。コーディネート窓口の運用は定着しつつあり、ポータルサイトを検索し当団体への問い合わせ等につながっている様子が見受けられる。ポータルサイトと窓口の二つの要素を運用することで、大手企業等からの相談先として成果をあげている。

相談件数：25 件（成立 13 件 不成立 5 件 継続 3 件 情報提供 4 件）

・日 時 通年

・場 所 事務局及び県内

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 447,846 円

(ウ) ワールドカフェ（子どもの未来応援ネットワーク）の開催
(基金 2 1 協働事業負担金事業)

・内 容 「フジサワアイデアソン～子どもを取り巻く環境を考える～」を開催

（一社）藤沢市民活動推進機構の協力を得て、貧困等への対応を念頭に、新型コロナ感染拡大防止に配慮し、地域の NPO 等と企業等とのオンラインイベントを実施した。

・日 時 3 月 28 日（月）14：00～16：00

・場 所 オンライン

・参加人数 25 名

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 358,277 円

(エ) ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」登録団体・企業等の交流会の開催
(基金 21 協働事業負担金事業)

・内 容 ポータルサイトの定着と子ども支援の拡大に向け、ポータルサイト登録団体に 3 月 28 日「フジサワアイデアソン アフター」への参加を促し、実施した。

・日 時 3 月 28 日（月）14：00～16：00

・場 所 オンライン

・従事者人員 3 名

・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人及び企業・団体等

・支 出 額 417,990 円

② 様々な寄付プログラムを実施し普及を図る事業

(ア) 会員の募集と寄付の募集

- ・内容

【会員の募集】

	2021 年度実績	前年度実績
正会員	61 名 (40 口)	61 名 (39 口)
準会員	20 名 (20 口)	24 名 (24 口)
子ども応援会員	11 名 (11 口)	23 名 (23 口)
法人会員	21 社 (25.6 口)	13 社 (17 口)

※定款第9条第2項の適用による減を含む

【寄付の募集】

種別	2021 年度実績	前年度実績
一般寄付金※	6,452,572 円	6,454,204 円
運営基盤を支える寄付金	80,811 円	543,811 円

※ピンクシャツデー協賛金を含む

- ・日 時 通年
- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 149,166 円

(イ) 音楽イベントでの募金活動及び普及啓発活動

- ・内 容 イベントブースでの募金活動及び普及啓発活動
イベント会場で子どもの居場所事業等を実施している活動団体紹介や募金活動を行った。
- ・日 時 10 月 24 日 (日) ホッチポッチ・ミュージックフェスティバル
- ・場 所 横浜公園
- ・従事者人員 2 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 192,275 円

(ウ) 商店街でのチャリティバザーの実施

- ・内 容 商店街の寄贈品によるチャリティバザー
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合の協力による、商店街の秋のイベントであるフライマルクトでチャリティバザーがコロナ禍により中止となったが、同商店街のウインターイベントに出店しピンクシャツデーグッズ等を販売した。
- ・日 時 12 月 12 日 (日) 11:00~17:00
- ・場 所 川崎市元住吉 モトスミ・ブレーメン通り商店街
- ・従事者人員 2 名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 4,416 円

(エ)福祉団体主催イベントでの募金活動（コロナ禍により中止）

- ・内 容 福祉作業所主催のバザーに出店し、飲料のチャリティー販売と募金活動
- ・従事者人員 1名
- ・受益対象者 子ども・若者・子育てに関する活動に関わる人
- ・支 出 額 4,416円

(2)個人や企業・団体からの寄付金品等及び財団からの助成金をもとにした、子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の運営費に関わる助成または子ども・若者・子育てに関わる人を支える民間非営利組織の事業費に関わる助成

① 助成事業

(ア) 2021年度助成事業

- ・内 容 2021年度助成の実施
「一般助成」「課題助成いじめ・貧困・児童虐待防止」、総額120万円（団体上限30万円）で2020年度に募集し、助成選考委員会の審議を経て、7団体へ総額115万円を助成した。

2021年度助成選考委員会

助成選考委員会 2021年3月31日

- 委員長 ■■■■■氏 北川商事株式会社代表取締役社長
- 委員 ■■■■■氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長
- 委員 ■■■■■氏 神奈川県弁護士会所属弁護士
- 委員 ■■■■■氏 NPO 法人ハンズオン埼玉理事
- 委員 ■■■■■氏 前神奈川県労働委員会労働者委員

- ・実施時期 5月
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等
- ・支 出 額 1,359,178円

【2021年度助成対象団体】

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	常設子育てサロン ちっちゃなて	<子育てサロン事業> 子育てサロンの運営	秦 野	200,000円
2	NPO法人ここだね	<学習支援事業> 無料相談・無料学習支援事業	逗 子	200,000円
3	多文化まちづくり工房	<学習支援事業> 外国につながる子どもの学習サポート事業	横 浜	200,000円
4	ペアレンティングホーム 金沢文庫（シングルマザーシェアハウス）	<事業> 目の前にいるこども達に、学びと社会体験の環境を提供する事業	横 浜	150,000円
5	ミナクルあすなろの家	<居場所づくり事業> 不登校児童生徒やひきこもりの青少年達及びその家族の皆さんが安心できる居場所作り	座 間	130,000円
			合 計	880,000円

<課題助成>

	団体名	事業名 < >内活動領域	都市名	助成金額
1	NPO 法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	<被害にあった子どもたちへの支援> 子どもが話すことサポート(付添犬)勉強会	横 浜	135,000 円
2	NPO 法人ZIRITSU *1	<IT教育支援事業> 自立のためのIT教育	横 浜	135,000 円
			合 計	270,000 円

*1 完了報告段階で事業遂行ができなかったことが判明したため、2022年度に助成金を返還していただく予定

(イ) 2022年度助成事業

・内 容 2022年度助成の実施

「一般助成」に加え「課題助成」総額120万円1団体上限30万円で、助成対象団体を募集した。

2022年度助成事業

募集総額：1,200,000円（前回は0円）（1団体につき上限30万円）

応募総額：4,741,300円

応募団体：17団体（前回比プラス4団体）

※他の助成が決まったと1団体の辞退があり、最終的には16件、4,441,300円となりました

2022年度助成選考委員

委員長 ■■■■■ 氏 株式会社高尚 代表取締役社長

委 員 ■■■■■ 氏 NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長

委 員 ■■■■■ 氏 神奈川県弁護士会所属弁護士

委 員 ■■■■■ 氏 一般社団法人ソーシャルコーディネイトかながわ 理事・事務局長

委 員 ■■■■■ 氏 前神奈川県労働委員

・募集期間

2021年11月1日（月）～2022年1月25日（火）

・従事者人員

10名

・受益対象者

県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び企業・団体等

・支出額

407,753円

② 助成贈呈式及び助成報告会（コロナ禍により中止）

(ア) 2021年度助成贈呈式・2020年度助成報告会の実施

・内 容 2020年度助成対象団体への助成贈呈と2020年度助成対象団体の活動報告及び寄付をした企業・団体・個人の方との交流。

・支 出 額 0円

③ 子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成

(ア) 一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）が実施する休眠預金等活用法に基づく「新型コロナウイルス対応緊急支援助成」の資金分配団体に採択されたことを受け、標記助成に係る県内実行団体の公募選考を経て決定した6団体と総額1,105万円の資金提供契約を締結し、2回分（2021年度）として総額4,896,169円を助成した。

・従事者人員 2名

- ・受益対象者 県内の子ども・若者の居場所事業などの利用者、子育てをしている親や家族、子ども支援に取り組む者など
- ・助成金額 2回分(2021年度) 4,896,769円 (決定総額 11,050,000円)
- ・助成期間 2回助成分 2021年5月～2021年9月 (全体期間 2020年11月～)
- ・支出額 5,391,238円

【子ども・若者支援事業新型コロナ対応助成に係る助成団体】

団体名	事業名	都市名	2020年度助成金額 (決定総額)
特定非営利活動法人 子どもと生活文化協会	農園を活用した子ども・若者支援事業	小田原	844,000円 (2,199,500円)
特定非営利活動法人 フリースクール鈴蘭学園	不登校・ひきこもり支援事業 ～子どもたちへの居場所の提供と学習支援～	相模原	979,400円 (1,808,900円)
NPO法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	「トラウマのメガネ」プロジェクト ～適切なケアにつなげるための トラウマの視点～	横浜	73,040円 (869,000円)
特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター	「地域みんなが元気になる活動事例集」 ～コロナに負けない！育てよう！ 子ども・若者～	横浜	1,513,337円 (2,643,673円)
特定非営利活動法人 横浜メンタルサービスネットワーク	「子ども・若者のキャリアスクール」 ～駄菓子屋カフェで職業体験～	横浜	747,550円 (2,007,800円)
一般財団法人エマージェンシー・メディカル・レスポonder財団	感染防護と、新型コロナ時代の応急手当教育 ～子どもが集う場所に安心と安全を～	横浜	739,442円 (1,521,127円)

(3) 前号の助成の対象となる団体等（以下、「助成対象団体等」という）に対する技術的支援

- ・内容 助成対象団体等への事業運営等に関する助言、支援及び専門家紹介等を行った。
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 90,612円

(4) 子ども・若者と子育てに関する分野の調査研究と政策提言

子ども・若者と子育てに関する調査等

- ・内容 実態を把握するため助成団体等へヒアリングを行った。
- ・日時 随時
- ・場所 助成対象団体等または事務局
- ・従事者人員 3名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人及び、助成を受けた子ども・若者・子育てに関わる民間非営利組織の運営に関わる人
- ・支出額 30,995円

(5) 子ども・若者と子育てを支えるための普及啓発

① 「ピンクシャツデー2022 in 神奈川」の取組み

(基金21協働事業負担金事業(一部/企画及び普及))

- ・内 容 2022年2月のピンクシャツデー月間はまん延防止措置期間となり、昨年に引き続き感染拡大防止に配慮しながらの実施となったが、県内の小中高校等でのポスター掲示や商業施設等でのサイネージ等の掲示、オリジナルグッズの販売など、多くの協力を得た。また、ライトアップを横浜5カ所、鎌倉1カ所、藤沢2カ所、小田原1カ所で実施した。県内各地域に活動の輪が広がり、学校やNPOの他図書館等での取組みがみられた。2月23日はパネル展示を実施。商業施設のプレスリリース等により、読売新聞神奈川版等で紹介された。また、インターン生によるSNS配信、ピンクシャツデー神奈川公式サイトで協賛団体等の取組み紹介等も行った。
- ・日 時 2022年2月(ピンクシャツデー月間)
キャンペーンイベント 2月23日(水)
- ・場 所 神奈川県域 各所
- ・従事者人員 10名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支 出 額 2,070,445円

② 子どもみらいセミナーの実施(基金21協働事業負担金事業)

- ・内 容 子ども未来セミナー2021の実施(3回)
「貧困・虐待・いじめ」をシリーズタイトルとし、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮してオンライン有料配信により実施した。
ナビゲーター：■■■■氏(神奈川子ども未来ファンド常任理事)

第1回「コロナ禍で急増する貧困」

日 時：2021年12月19日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第1会議室

講 師：■■■■氏(子ども食堂よこすかなかながや代表)

参加申込者数 28名 アンケート回収 7通

You tube 通算視聴回数 41回

第2回「若年女性を取り巻く現状～コロナ禍で孤独深める少女たち～」

日 時：2022年1月16日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第2会議室

講 師：■■■■氏

(特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表)

参加申込者数 31名 アンケート回収 6通

You tube 通算視聴回数 72回

第3回「いじめストップ！」

日 時：2022年2月6日(日)14:00~16:00

配信会場：横浜ワールドポーターズ 第1会議室

講 師：■■■■氏(『こども六法』著者、教育研究者、俳優、

合同会社 Art&Arts 社長、慶應義塾大学 SFC 研修所所員)
参加申込者数 86 名 アンケート回収 11 通
You tube 通算視聴回数 131 回 (再配信 23 回を含む)

- ・従事者人員 10 名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 1,194,257 円

③ 子どものみらい応援団セミナー実施 (基金 2 1 協働事業負担金事業)

- ・内 容 子どものみらい応援団セミナーの実施 (2 回)
神奈川県「子どものみらい応援団」の構成団体等で、子どもの現状を伝えるセミナーを実施した。

第 1 回 一般社団法人神奈川経済同友会 環境福祉委員会

日程 2021 年 10 月 18 日 (月) / 15:00-17:00

演題 子どもたちに食糧支援を
～持続可能な子ども食堂支援の仕組みづくり～

講師 一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事 平野 覚治氏

事例報告 子ども食堂よこすかなかながや 代表 [REDACTED] 氏
まりあ食堂 事務局代表 [REDACTED] 氏

第 2 回 神奈川県生産性本部 2021 年度上期理事会

日程 2021 年 11 月 29 日 (月) / 15:30~17:00 (講演 16:30~17:00)

演題 子どもたちに食糧支援を

講師 一般社団法人全国食支援活動協力会専務理事 [REDACTED] 氏
子ども食堂よこすかなかながや 代表 [REDACTED] 氏

- ・従事者人員 3 名
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 179,139 円

④ 日本子ども虐待防止学会第 27 回学術集会かながわ大会への参加

- ・内 容 県内で子ども虐待対応活動に関わっている多職種のメンバーからなる実行委員会に参加。「誰ひとり取り残さない」～思いをカタチに～をメインテーマに開催される学術集会の準備等に携わった。
- ・日 時 2021 年 12 月 4 日～5 日
- ・場 所 パシフィコ横浜ノース
- ・従事者人員 1 人
- ・支出額 8,832 円

⑤ 「バリアフリーフェスタかながわ」への参加 (コロナにより中止)

- ・内 容 神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議主催「バリアフリーフェスタ」に出展し、神奈川の子どもたちを支える活動を紹介するブースを展開する。
- ・日 時 11 月
- ・場 所 未定
- ・従事者人員 2 人
- ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
- ・支出額 4,416 円

- ⑥ パンフレット「つなぎ育む子どもの未来」の活用による普及啓発
(基金 21 協働事業負担金事業)
- ・内 容 パンフレットを活用して企業等への普及啓発活動を行った。
 - ・日 時 通年
 - ・場 所 事務局他
 - ・従事者人員 3 名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支 出 額 358,277 円
- ⑦ ポータルサイト「こどものみらい応援ネット」の活用による普及啓発とマッチング
- ・内 容 ポータルサイトを活用し企業と NPO とのマッチングを行った。
 - ・日 時 通年
 - ・場 所 事務局
 - ・従事者人員 3 人
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支 出 額 179,139 円
- ⑧ インターネットを活用した普及啓発
- ・内 容 Facebook 等を活用して普及啓発事業を行った。
 - ・日 時 随時
 - ・場 所 事務局他
 - ・従事者人員 3 名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わる人
 - ・支 出 額 56,716 円
- ⑨ 広報誌の発行による普及啓発
- ・内 容 広報誌「ハンズ to ハンズ」を発行して広報宣伝活動を行った。
 - ・日 時 7 月及び 2 月 (年 2 回発行) 各回 3,000 部発行
 - ・場 所 事務局
 - ・従事者人員 3 名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支 出 額 163,101 円
- ⑩ その他、メディア等を活用した広報宣伝
- ・内 容 新聞・テレビ等のメディアにプレスリリース等積極的に働きかけた。
 - ・日 時 随時
 - ・場 所 事務局他
 - ・従事者人員 3 名
 - ・受益対象者 県内の子ども・若者・子育てに関わるすべての人
 - ・支 出 額 61,989 円

(6) 第3条の目的を達成するために必要な事業

① 会議に関する事項

- ・通常総会 5月開催
- ・理事会 年12回開催
- ・運営委員会 年12回開催

② 監査に関する事項

- ・本監査 年1回

③ 事務局体制

- ・事務局スタッフ 常勤職員 1名(2021年7月退職)
非常勤職員 3名(2021年9月1名、2022年2月1名入職)
- ・運営委員による事務局応援
有償ボランティア 3名(週1回程度)
その他ボランティア 3名(随時)

以上

監査報告書

1. 業務監査

本法人の業務について、理事及び事務局から業務実施の状況の説明をうけ、その他の事象とを総合的に勘案し、法人の業務は適正、適法に行なわれていると判断した。

2. 会計監査

本法人の会計について、事務執行者の説明をうけ、その内容を点検したところ、会計は適法に処理されていると判断した。

2020年5月8日

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド

監事

渡辺 誠二



2019年度 活動計算書

平成31年 4月 1日 ~ 令和2年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	470,000	
準会員受取会費	72,000	
子ども応援受取会費	90,000	
法人会員会費	390,000	
入会金	2,000	
		1,024,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	8,297,110	
資産受贈益	25,400	
		8,322,510
3. 受取助成金等		
受取民間助成金	665,000	
受取負担金	6,484,000	
		7,149,000
4. 事業収益		
公演・講演会事業	299,000	
ピンクシャツデーグッズ	1,439,550	
バザー	101,171	
飲料販売	20,400	
その他グッズ	122,170	
		1,982,291
5. その他収益		
受取利息	68	
雑収益	497,208	
		497,276
経常収益計		18,975,077
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	5,018,550	
法定福利費	663,523	
通勤費	507,435	
人件費計	6,189,508	
(2) その他経費		
売上原価	111,665	
業務委託費	2,394,228	
諸謝金	954,360	
印刷製本費	1,226,880	
会議費	890	
旅費交通費	77,824	
車両費	15,020	
通信運搬費	575,173	
消耗品費	270,009	
水道光熱費	20,960	
地代家賃	237,540	
賃借料	515,406	
保険料	15,130	
リース料	79,164	
租税公課	1,050	
広報活動費	79,882	
支払報酬	139,770	
支払手数料	80,834	
支払助成金	1,020,000	
雑費	202,991	
その他経費計	8,018,776	
事業費計		14,208,284
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	192,000	

通勤費	10,248		
福利厚生費	14,179		
人件費計	216,427		
(2)その他経費			
会議費	2,604		
旅費交通費	7,987		
通信運搬費	72,280		
消耗品費	38,798		
水道光熱費	62,228		
地代家賃	705,408		
賃借料	13,310		
諸会費	11,000		
リース料	206,064		
租税公課	1,650		
支払報酬	97,200		
支払手数料	107,541		
雑費	38,340		
その他経費計	1,364,410		
管理費計		1,580,837	
経常費用計			15,789,121
税引前当期正味財産増減額			3,185,956
法人税・住民税および事業税			74,500
当期正味財産増減額			3,111,456
前期繰越正味財産額			6,758,914
次期繰越正味財産額			9,870,370

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

貸借対照表

令和2年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金	10,317,024		
未収金	34,800		
棚卸資産	50,000		
流動資産合計		10,401,824	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	215,943		
投資その他の資産計	215,943		
固定資産合計		215,943	
資産合計			10,617,767
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	640,507		
預り金	32,390		
未払法人税等	74,500		
流動負債合計		747,397	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			747,397
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,758,914	
当期正味財産増減額		3,111,456	
正味財産合計			9,870,370
負債及び正味財産合計			10,617,767

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	基金21協働事業	ピンクシャツデー	助成事業	その他	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益							
1. 受取会費	0	0	58,500	965,500	1,024,000	0	1,024,000
2. 受取寄付金	0	3,540,252	2,840,769	1,941,489	8,322,510	0	8,322,510
3. 受取助成金等	6,784,000	300,000	0	65,000	7,149,000	0	7,149,000
4. 自主事業収益	299,000	1,439,550	0	243,741	1,982,291	0	1,982,291
5. その他収益	12	250,011	30	247,223	497,276	0	497,276
経常収益計	7,083,012	5,529,813	2,899,299	3,462,953	18,975,077	0	18,975,077
II 経常費用							
(1) 人件費							
給料手当	3,840,730	626,050	91,000	460,770	5,018,550	192,000	5,210,550
法定福利費	314,351	181,210	0	167,962	663,523	0	663,523
通勤費	398,906	67,437	6,344	34,748	507,435	10,248	517,683
福利厚生費	0	0	0	0	0	14,179	14,179
人件費計	4,553,987	874,697	97,344	663,480	6,189,508	216,427	6,405,935
(2) その他経費							
売上原価	0	35,716	0	75,949	111,665	0	111,665
業務委託費	1,844,628	549,600	0	0	2,394,228	0	2,394,228
諸謝金	320,360	634,000	0	0	954,360	0	954,360
印刷製本費	337,349	807,719	81,812	0	1,226,880	0	1,226,880
会議費	0	0	0	890	890	2,604	3,494
旅費交通費	28,437	19,730	5,750	23,907	77,824	7,987	85,811
車両費	15,020	0	0	0	15,020	0	15,020
通信運搬費	166,276	213,367	123,854	71,676	575,173	72,280	647,453
消耗品費	62,175	118,471	22,365	66,998	270,009	38,798	308,807
水道光熱費	0	20,960	0	0	20,960	62,228	83,188
地代家賃	0	237,540	0	0	237,540	705,408	942,948
賃借料	326,783	188,623	0	0	515,406	13,310	528,716
諸会費	0	0	0	0	0	11,000	11,000
保険料	15,130	0	0	0	15,130	0	15,130
リース料	0	79,164	0	0	79,164	206,064	285,228
租税公課	0	1,050	0	0	1,050	1,650	2,700
広報活動費	10,000	0	0	69,882	79,882	0	79,882
支払報酬	0	127,520	12,250	0	139,770	97,200	236,970
支払手数料	21,546	47,442	10,214	1,632	80,834	107,541	188,375
支払助成金	0	0	1,020,000	0	1,020,000	0	1,020,000
雑費	0	11,380	0	191,611	202,991	38,340	241,331
その他経費計	3,147,704	3,092,282	1,276,245	502,545	8,018,776	1,364,410	9,383,186
経常費用計	7,701,691	3,966,979	1,373,589	1,166,025	14,208,284	1,580,837	15,789,121
当期経常増減額	△ 618,679	1,562,834	1,525,710	2,296,928	4,766,793	△ 1,580,837	3,185,956

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
該当なし			0
	0	0	0

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

財産目録

令和2年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	46,360		
郵便振替	75,086		
横浜銀行	991,219		
横浜銀行(特別会計用)	6,975,467		
三菱UFJ銀行	2,160,982		
中央労働金庫	41,810		
イオンカード	26,100		
未収金			
ネットグッズ売上	1,800		
ネット寄附金	33,000		
棚卸資産			
Tシャツ他	50,000		
流動資産合計		10,401,824	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
敷金	215,943		
固定資産合計		215,943	
資産合計			10,617,767
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
給料	400,287		
社会保険料	92,050		
印刷製本費	32,886		
消耗品費	18,876		
通信費	13,379		
地代家賃	79,179		
手数料	3,850		
預り金			
源泉所得税	32,390		
未払法人税等	74,500		
流動負債合計		747,397	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			747,397
正味財産			9,870,370

監査報告書

1. 業務監査

本法人の業務について、理事及び事務局から業務実施の状況の説明を受け、その他の事象とを総合的に勘案し、法人の業務は適正、適法に行なわれていると判断した。

2. 会計監査

本法人の会計について、事務執行者の説明を受け、その内容を点検したところ、会計は適法に処理されていると判断した。

2021年5月15日

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド

監 事

渡 辺 誠 二

渡 邊 正 義

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

活動計算書

令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	390,000	
準会員受取会費	72,000	
子ども応援受取会費	115,000	
法人会員会費	510,000	
入会金	4,000	1,091,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	6,436,127	
資産受贈益	561,888	6,998,015
3. 受取助成金等		
受取助成金	7,992,021	
受取負担金	5,234,000	13,226,021
4. 事業収益		
ピンクシャツデーグッズ	2,016,000	
飲料販売	4,100	
その他グッズ	4,200	
その他収益	149,919	2,174,219
5. その他収益		
受取利息	88	
雑収益	97,050	97,138
経常収益計		23,586,393
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	4,771,790	
法定福利費	692,923	
通勤費	494,276	
人件費計	5,958,989	
(2) その他経費		
売上原価	1,054,119	
業務委託費	2,264,970	
諸謝金	380,000	
印刷製本費	536,338	
会議費	0	
旅費交通費	2,886	
車両費	0	
通信運搬費	668,679	
消耗品費	679,272	
水道光熱費	73,581	
地代家賃	831,381	
賃借料	262,860	
保険料	10,750	
リース料	0	
租税公課	200	
広報活動費	25,188	
支払報酬	27,500	
支払手数料	126,572	
支払助成金	7,893,231	
雑費	42,431	
その他経費計	14,879,958	
事業費計		20,838,947
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	390,495	

法定福利費	92,169		
通勤費	44,332		
福利厚生費	7,169		
人件費計	534,165		
(2)その他経費			
会議費	0		
旅費交通費	0		
通信運搬費	80,918		
消耗品費	124,742		
水道光熱費	10,503		
地代家賃	119,419		
賃借料	16,640		
諸会費	5,000		
保険料	8,730		
租税公課	4,350		
支払報酬	110,000		
支払手数料	67,455		
雑費	4,470		
その他経費計	552,227		
管理費計		1,086,392	
経常費用計			21,925,339
税引前当期正味財産増減額			1,661,054
法人税・住民税および事業税			74,500
当期正味財産増減額			1,586,554
前期繰越正味財産額			9,870,370
次期繰越正味財産額			11,456,924

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

貸借対照表

令和3年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現預金	16,892,558	
未収金	607,771	
棚卸資産	532,306	
流動資産合計		18,032,635
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
有形固定資産計	0	
(2)無形固定資産		
無形固定資産計	0	
(3)投資その他の資産		
敷金	215,943	
投資その他の資産計	215,943	
固定資産合計		215,943
資産合計		18,248,578
II 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	530,280	
前受金	6,104,449	
預り金	82,425	
未払法人税等	74,500	
流動負債合計		6,791,654
2. 固定負債		
長期借入金	0	
固定負債合計		0
負債合計		6,791,654
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産		9,870,370
当期正味財産増減額		1,586,554
正味財産合計		11,456,924
負債及び正味財産合計		18,248,578

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

財産目録

令和3年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	53,069		
郵便振替	418,785		
横浜銀行	3,120,323		
横浜銀行(JANPIA用)	6,174,146		
横浜銀行(特別会計用)	5,370,436		
三菱UFJ銀行	1,714,126		
中央労働金庫	41,590		
イオンカード	83		
未収金			
ネットグッズ売上	25,900		
ネット寄附金	581,871		
棚卸資産			
Tシャツ他	532,306		
流動資産合計		18,032,635	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
敷金	215,943		
固定資産合計		215,943	
資産合計			18,248,578
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
人件費(給与、通勤費、法定福利費)	462,258		
業務委託費	50,000		
通信費	12,096		
消耗品費	5,926		
前受金			
JANPIA	6,104,449		
預り金			
源泉所得税	35,385		
住民税	34,800		
社会保険料	12,240		
未払法人税等	74,500		
流動負債合計		6,791,654	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			6,791,654
正味財産			11,456,924

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によります。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。
無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によります。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	基金21協同事業	JANPIA	ピンクシャツデー	助成事業	その他	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	74,750	1,016,250	1,091,000	0	1,091,000
2. 受取寄付金等	100,000	0	2,784,338	2,306,685	1,806,992	6,998,015	0	6,998,015
3. 受取助成金等	5,764,310	7,161,711	300,000	0	0	13,226,021	0	13,226,021
4. 自主事業収益	0	0	2,016,000	0	158,219	2,174,219	0	2,174,219
5. その他収益	17	0	11	48	97,062	97,138	0	97,138
経常収益計	5,864,327	7,161,711	5,100,349	2,381,483	3,078,523	23,586,393	0	23,586,393
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	2,569,045	629,014	1,008,309	415,928	149,494	4,771,790	390,495	5,162,285
法定福利費	517,705	0	175,218	0	0	692,923	92,169	785,092
通勤費	280,988	73,920	118,144	15,952	5,272	494,276	44,332	538,608
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	7,169	7,169
人件費計	3,367,738	702,934	1,301,671	431,880	154,766	5,958,989	534,165	6,493,154
(2) その他経費								
売上原価	0	0	1,054,119	0	0	1,054,119	0	1,054,119
業務委託費	1,860,000	0	404,970	0	0	2,264,970	0	2,264,970
諸謝金	180,000	100,000	0	100,000	0	380,000	0	380,000
印刷製本費	26,400	0	429,638	80,300	0	536,338	0	536,338
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	2,886	0	0	0	0	2,886	0	2,886
車両費	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	216,258	58,975	225,957	167,489	0	668,679	80,918	749,597
消耗品費	296,800	57,081	175,492	149,899	0	679,272	124,742	804,014
水道光熱費	0	6,300	33,636	33,645	0	73,581	10,503	84,084
地代家賃	0	71,280	380,046	380,055	0	831,381	119,419	950,800
賃借料	67,188	0	191,532	4,140	0	262,860	16,640	279,500
保険料	10,750	0	0	0	0	10,750	8,730	19,480
諸会費	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000
リース料	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課	0	200	0	0	0	200	4,350	4,550
広報活動費	9,725	0	15,463	0	0	25,188	0	25,188
支払報酬	0	0	27,500	0	0	27,500	110,000	137,500
支払手数料	26,817	10,780	36,458	52,297	220	126,572	67,455	194,027
支払助成金	0	6,153,231	0	1,740,000	0	7,893,231	0	7,893,231
雑費	0	930	0	17,944	23,557	42,431	4,470	46,901
その他経費計	2,696,824	6,458,777	2,974,811	2,725,769	23,777	14,879,958	552,227	15,432,185
経常費用計	6,064,562	7,161,711	4,276,482	3,157,649	178,543	20,838,947	1,086,392	21,925,339
当期経常増減額	△ 200,235	0	823,867	△ 776,166	2,899,980	2,747,446	△ 1,086,392	1,661,054

3. 使途等が制約された寄付金・助成金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
子ども・若者支援事業 新型コロナ対応助成	0	7,161,711	7,161,711	0	助成金の総額は13,266,160円。 当期増加額との差額6,104,449円は令和3年度の事業に使用されるため、前受金として貸借対照表に表示していません。
合計	0	7,161,711	7,161,711	0	

4. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等と
該当なし			0
	0	0	0

監査報告書

1. 業務監査

本法人の業務について、理事及び事務局から業務実施の状況の説明を受け、その他の事象とを総合的に勘案し、法人の業務は適正、適法に行なわれていると判断した。

2. 会計監査

本法人の会計について、事務執行者の説明を受け、その内容を点検したところ、会計は適法に処理されていると判断した。

2022年5月15日

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド

監 事 渡 辺 誠 二 
渡 辺 正 義 

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

活動計算書

令和3年 4月 1日 ~ 令和4年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	530,000	
準会員受取会費	60,000	
子ども応援受取会費	65,000	
法人会員会費	770,000	
入会金	6,000	1,431,000
2. 受取寄付金		
受取寄付金	6,085,243	
資産受贈益	448,140	6,533,383
3. 受取助成金等		
受取助成金	5,841,238	
受取補助金	300,000	
受取負担金	3,484,000	9,625,238
4. 事業収益		
ピンクシャツデーグッズ	1,035,007	
飲料販売	13,750	
その他収益	137,000	1,185,757
5. その他収益		
受取利息	88	88
経常収益計		18,775,466
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	3,430,640	
法定福利費	502,217	
通勤費	371,530	
人件費計	4,304,387	
(2) その他経費		
売上原価	425,760	
業務委託費	422,000	
諸謝金	400,220	
印刷製本費	449,682	
会議費	5,319	
旅費交通費	35,274	
車両費	0	
通信運搬費	767,262	
消耗品費	670,160	
水道光熱費	67,984	
地代家賃	820,655	
賃借料	330,817	
研修費	27,500	
広報活動費	6,326	
支払報酬	0	
支払手数料	59,175	
支払助成金	5,530,233	
雑費	1,976	
その他経費計	10,020,343	
事業費計		14,324,730
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	454,570	
法定福利費	0	
通勤費	46,952	
福利厚生費	14,338	
人件費計	515,860	

法人名： 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド

活動計算書

令和3年 4月 1日 ～ 令和4年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額		
(2)その他経費			
印刷製本費	80,300		
諸謝金	3,000		
通信運搬費	148,025		
消耗品費	116,461		
水道光熱費	11,200		
地代家賃	134,613		
賃借料	2,750		
接待交際費	10,000		
諸会費	8,000		
支払報酬	110,000		
支払手数料	1,008,850		
雑費	15,158		
その他経費計	1,648,357		
管理費計		2,164,217	
経常費用計			16,488,947
III 経常外収益			
過年度損益修正益	65,350		
経常外収益 計		65,350	
税引前当期正味財産増減額			2,351,869
法人税・住民税および事業税			74,500
当期正味財産増減額			2,277,369
前期繰越正味財産額			11,456,924
次期繰越正味財産額			13,734,293

法人名： 特定非営利活動法人神奈川県子ども未来ファンド

貸借対照表

令和4年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現預金	13,557,492		
未収金	16,456		
棚卸資産	574,760		
流動資産合計		14,148,708	
2. 固定資産			
(1) 有形固定資産			
有形固定資産計	0		
(2) 無形固定資産			
無形固定資産計	0		
(3) 投資その他の資産			
敷金	215,943		
投資その他の資産計	215,943		
固定資産合計		215,943	
資産合計			14,364,651
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	491,946		
預り金	63,912		
未払法人税等	74,500		
流動負債合計		630,358	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			630,358
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		11,456,924	
当期正味財産増減額		2,277,369	
正味財産合計			13,734,293
負債及び正味財産合計			14,364,651

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によつてい
ます。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によつています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	基金21協同事業	JANPIA	ピンクシャツデー	助成事業	その他	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益								
1. 受取会費	0	0	0	42,250	1,388,750	1,431,000	0	1,431,000
2. 受取寄付金等	0	0	2,120,141	2,816,073	1,597,169	6,533,383	0	6,533,383
3. 受取助成金等	3,934,000	5,391,238	300,000	0	0	9,625,238	0	9,625,238
4. 自主事業収益	136,000	0	1,035,007	0	14,750	1,185,757	0	1,185,757
5. その他収益	10	0	8	39	31	88	0	88
経常収益計	4,070,010	5,391,238	3,455,156	2,858,362	3,000,700	18,775,466	0	18,775,466
II 経常費用								
(1) 人件費								
給料手当	2,239,867	594,516	214,308	336,463	45,486	3,430,640	454,570	3,885,210
法定福利費	502,217	0	0	0	0	502,217	0	502,217
通勤費	297,062	55,790	2,176	16,502	0	371,530	46,952	418,482
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	14,338	14,338
人件費計	3,039,146	650,306	216,484	352,965	45,486	4,304,387	515,860	4,820,247
(2) その他経費								
売上原価	0	0	425,760	0	0	425,760	0	425,760
業務委託費	400,000	0	22,000	0	0	422,000	0	422,000
諸謝金	220,000	220	0	180,000	0	400,220	3,000	403,220
印刷製本費	18,625	0	431,057	0	0	449,682	80,300	529,982
会議費	0	0	0	5,319	0	5,319	0	5,319
旅費交通費	3,928	4,952	24,511	1,883	0	35,274	0	35,274
通信運搬費	313,799	124,777	195,753	132,933	0	767,262	148,025	915,287
消耗品費	377,368	32,856	117,302	142,634	0	670,160	116,461	786,621
水道光熱費	0	0	33,633	34,351	0	67,984	11,200	79,184
地代家賃	0	60,334	380,046	380,275	0	820,655	134,613	955,268
賃借料	118,185	0	208,602	4,030	0	330,817	2,750	333,567
接待交際費	0	0	0	0	0	0	10,000	10,000
諸会費	0	0	0	0	0	0	8,000	8,000
研修費	0	27,500	0	0	0	27,500	0	27,500
広報活動費	0	0	6,326	0	0	6,326	0	6,326
支払報酬	0	0	0	0	0	0	110,000	110,000
支払手数料	30,405	10,060	6,995	11,715	0	59,175	1,008,850	1,068,025
支払助成金	0	4,480,233	0	1,050,000	0	5,530,233	0	5,530,233
雑費	0	0	1,976	0	0	1,976	15,158	17,134
その他経費計	1,482,310	4,740,932	1,853,961	1,943,140	0	10,020,343	1,648,357	11,668,700
経常費用計	4,521,456	5,391,238	2,070,445	2,296,105	45,486	14,324,730	2,164,217	16,488,947
当期経常増減額	△ 451,446	0	1,384,711	562,257	2,955,214	4,450,736	△ 2,164,217	2,286,519

3. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計 上された金額	内、役員との 取引	内、近親者及 び 支配法人等と
諸謝金	403,220	90,000	0
			0
	403,220	90,000	0

財産目録

令和4年 3月 31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	9,408		
郵便振替	2,674,217		
横浜銀行	5,241,830		
横浜銀行(特別会計用)	3,633,579		
三菱UFJ銀行	1,956,785		
中央労働金庫	41,590		
イオンカード	83		
未収金			
グッズ売上	9,194		
ネット寄附金	7,262		
棚卸資産			
Tシャツ他	574,760		
流動資産合計		14,148,708	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産	0		
(2)無形固定資産	0		
(3)投資その他の資産	0		
敷金	215,943		
固定資産合計		215,943	
資産合計			14,364,651
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金			
人件費(給与、通勤費、法定福利費)	432,600		
通信費	20,336		
消耗品費	39,010		
預り金			
源泉所得税	42,712		
住民税	21,200		
未払法人税等	74,500		
流動負債合計		630,358	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			630,358
正味財産			13,734,293